

商工センター地区 街づくり提案



令和4年7月
広島商工センター地域経済サミット

西瀬戸・せとさんぽ



パークライフを楽しむ



スポーツイベント

西の玄関口

広島・西瀬戸・世界の豊かな時間を体験し楽しむ街

流通業務地区として栄えてきた商工センターは、島嶼部や宮島や尾道、鞆の浦などの歴史地区につながる港があり、周辺都市や中山間地域に比較的短時間でつながる JR や高規格道路等の交通網があるため、多くの人を訪れるイベントや西瀬戸観光を視野に入れた MICE 関連事業の開催に適した地区と言えます。

また現在、生鮮産品が集まる広島市中央市場の建替えが検討されている中で、生鮮食料品等を活用した販売機能を導入することが計画されていることから、今後、商工センターは産地直送の産品や旬の食、生産者や生産地との交流を楽しむことができる地区になると思われます。

このようなことから本計画では、商工センターを広島の新なる「西の玄関口」として再考し、広島・西瀬戸・世界の豊かな時間を体験・経験し楽しむことができる街にすることを考えています。



セミナー・講演会



世界の知をハイブリットで



DX による世界の産業展



MICE 事業



産業交流・商談



体験型商品販売



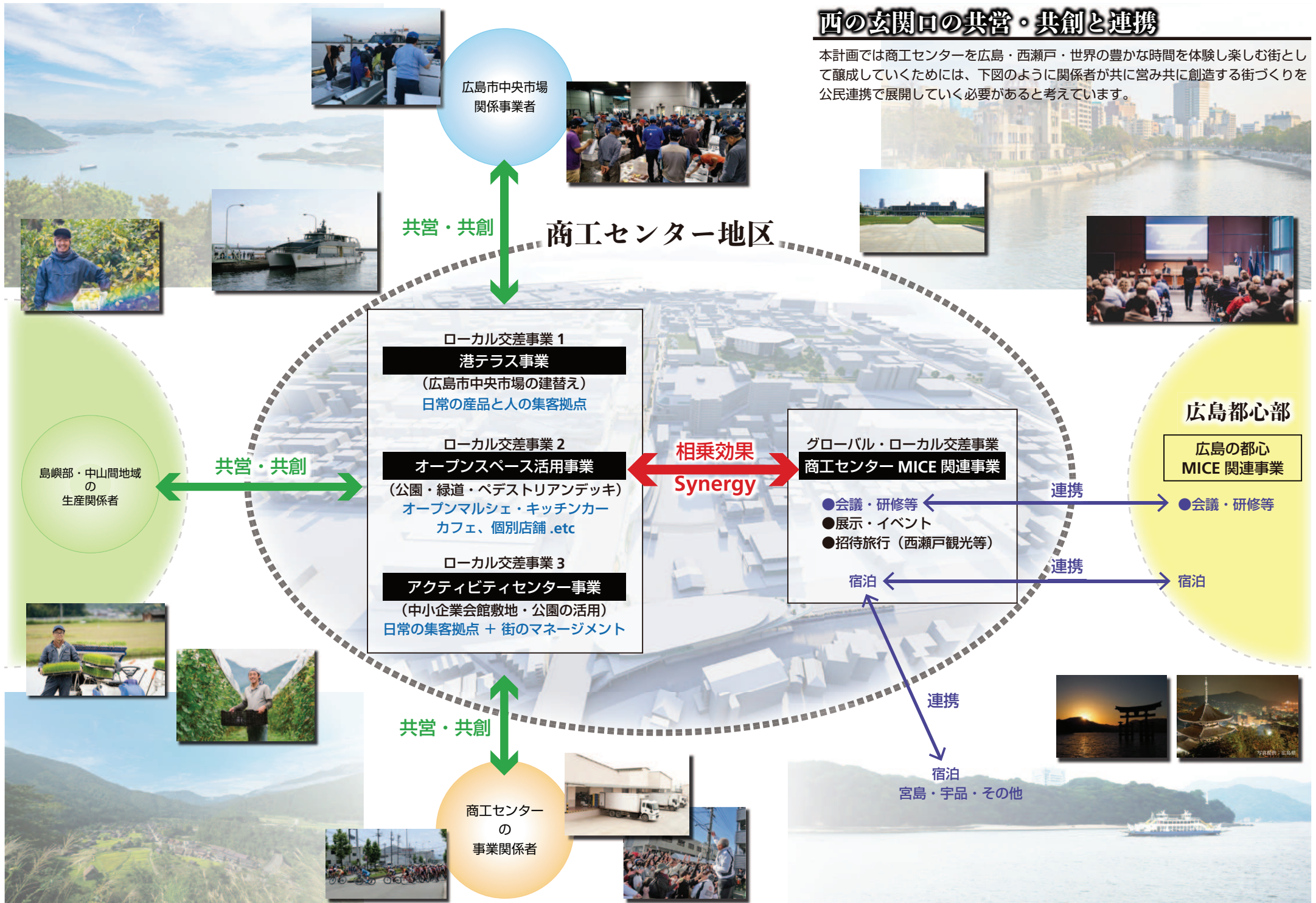
アクティビティ



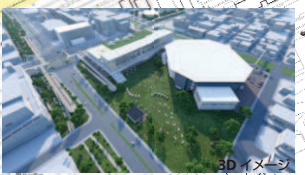
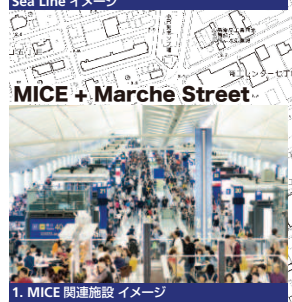
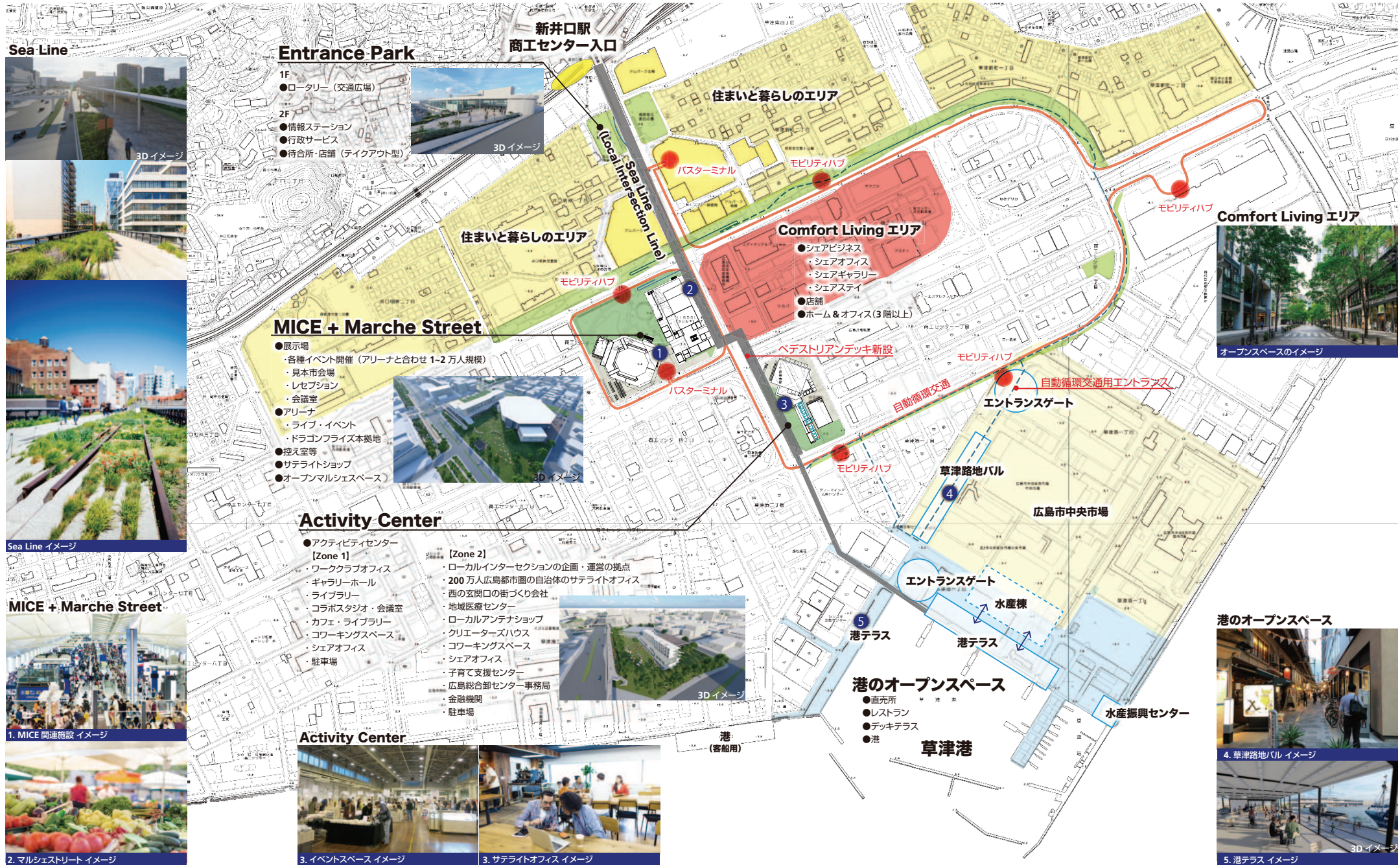
街づくりの企画・活動

西の玄関口の共営・共創と連携

本計画では商工センターを広島・西瀬戸・世界の豊かな時間を体験し楽しむ街として醸成していくためには、下図のように関係者が共に営み共に創造する街づくりを公民連携で展開していく必要があると考えています。

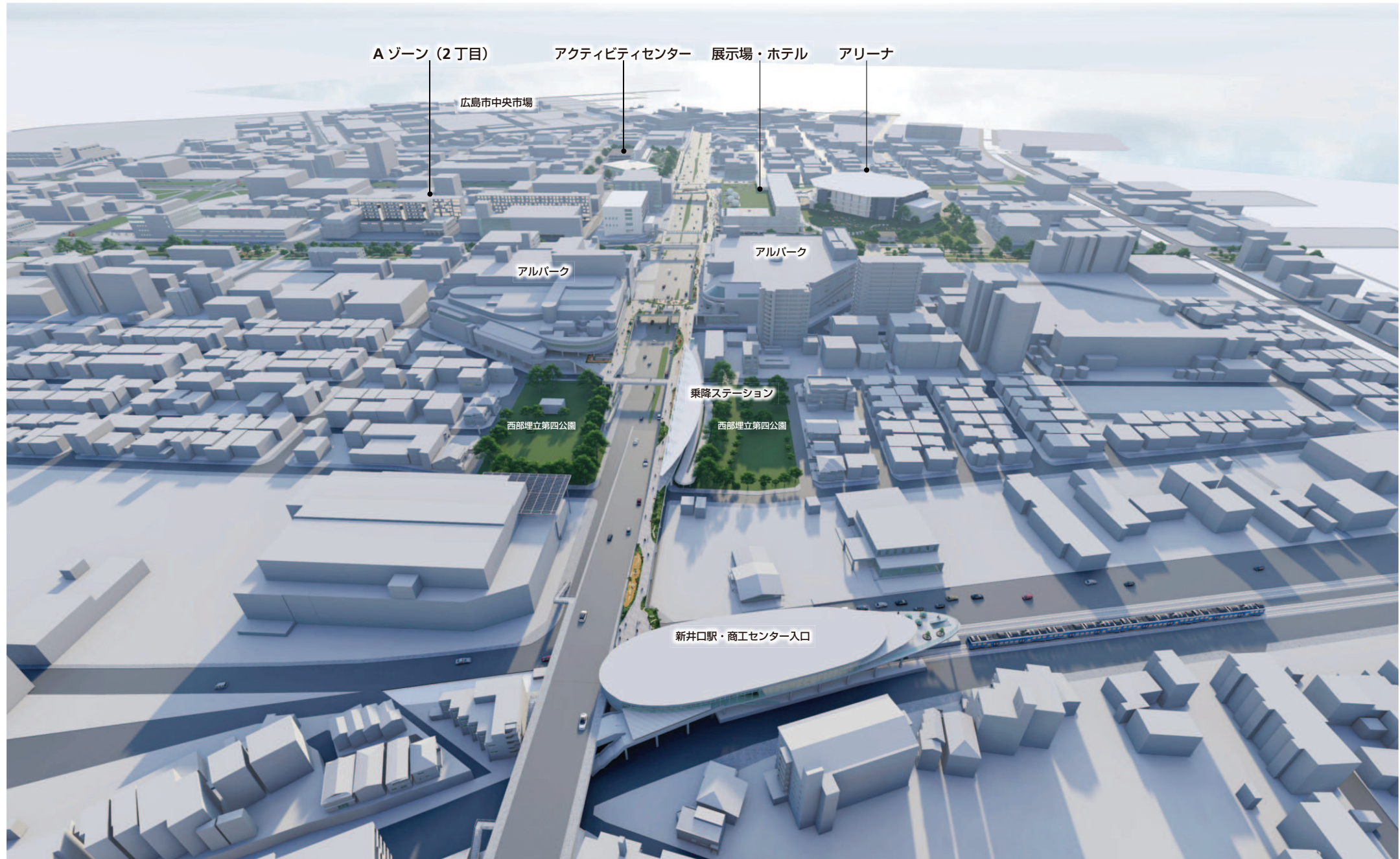


■地元住民・広島市民・民間企業・大学・周辺市町・国内外の人々が集い、交流し、憩える活気のある街

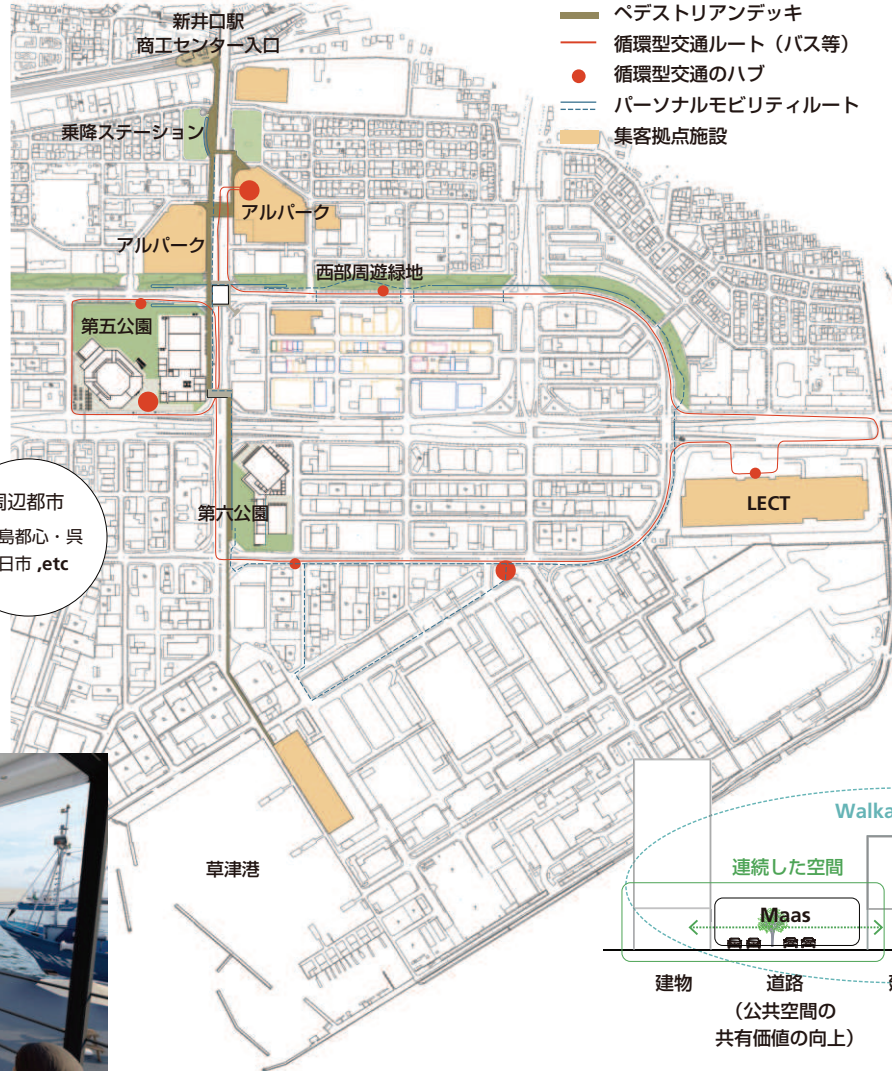
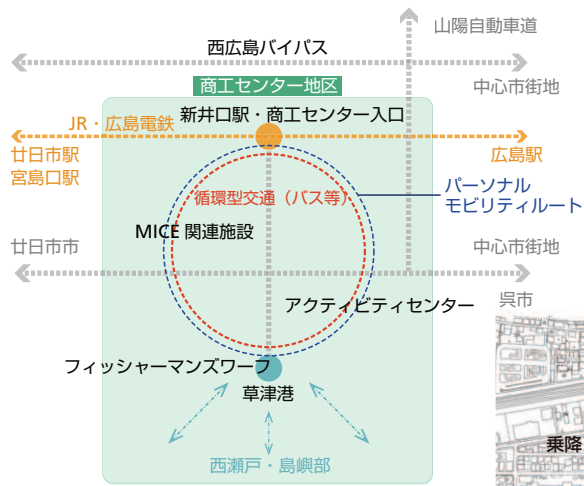


3Dによる西の玄関口の全体イメージ

■山側（北側）から街を望む

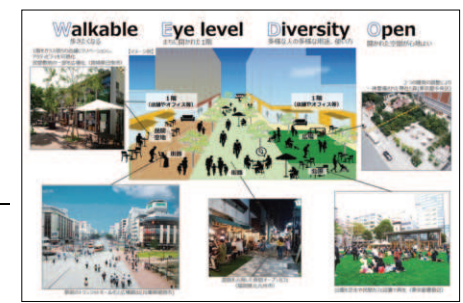
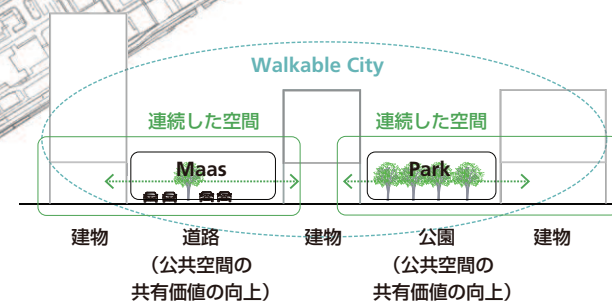
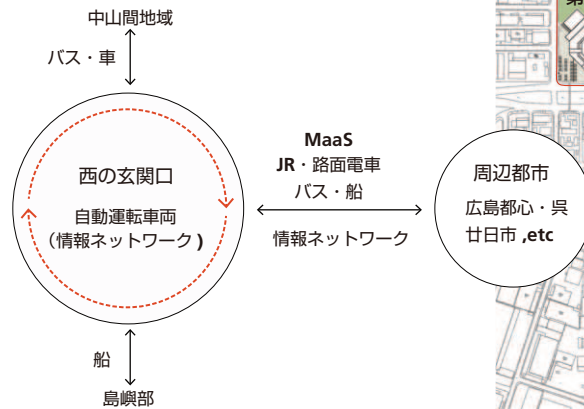


公民連携による交通と人・もの・情報のネットワークづくり



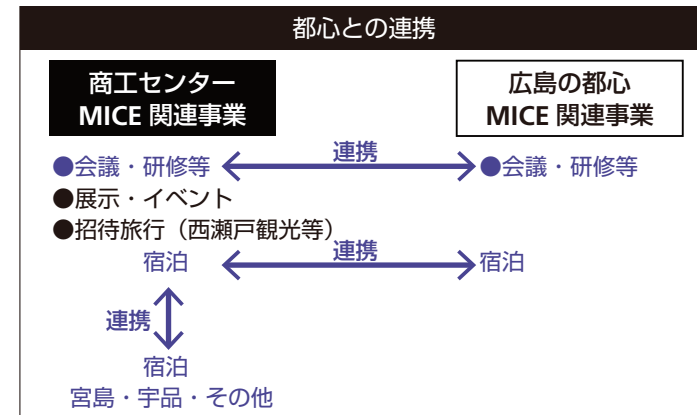
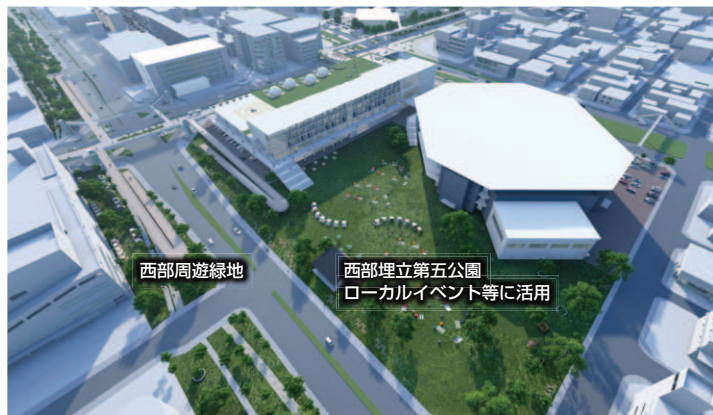
商工センターを西の玄関口として再生させるためには、一般の来訪者の動線と既存の物流等の動線を分けながら共存できるようにし、賑わいと産業振興の両立が図れるようにする必要があります。このようなことから商工センターの街づくりにおいては、次のような交通等のネットワークづくりを提案します。

- 1) ペDESTリアンデッキを新井口駅から草津港まで延長
- 2) 自転車やキックボードなどで街を回遊できるルートの設置
- 3) 駅や港、各集客施設をつなぐ循環交通の整備
- 4) 新井口駅のコンコースの拡充
- 5) 草津港を漁港+観光港に更新
- 6) 中心市街地とのアクセスの改善
- 7) DXによる MaaS と街の情報ネットワークの構築



MICE 関連施設の概要

都心にある会議場等は、大規模な国際会議や学会等を開催するには十分な規模を有していません。このため、今後、広島市がグローバル MICE 都市としての機能を拡充することを目指して、大会の全体会議やレセプション、展示・イベントを開催できる MICE 関連施設を商工センター地区に整備し、都心の施設とは会議や宿泊などの役割を分担するなど、相互連携を図っていくことを提案します。



【展示場施設の機能】

- ・展示場
- ・会議室 (大)
- ・会議室 (中)
- ・会議室 (小)
- ・控室
- ・エントランスロビー
- ・レストラン
- ・宴会場 (大)
- ・宴会場 (中)
- ・宴会場 (小)
- ・ホテル事務室・受付
- ・客室
- ・リビング・ラウンジ
- ・屋上広場 (eVTOL 発着場含む)
- ・管理事務室
- ・トイレ
- ・倉庫

【アリーナ施設の機能】

- ・メインアリーナ
- ・サブアリーナ
- ・トレーニングルーム
- ・ドラゴンフライズ関係諸室
- ・医務室・更衣室
- ・ホール
- ・VIP 専用ラウンジ
- ・売店
- ・エントランスロビー
- ・スポンサーブース
- ・多目的室
- ・観客席
- ・トイレ
- ・映像音響室
- ・倉庫
- ・電気室
- ・機械室

■見本市



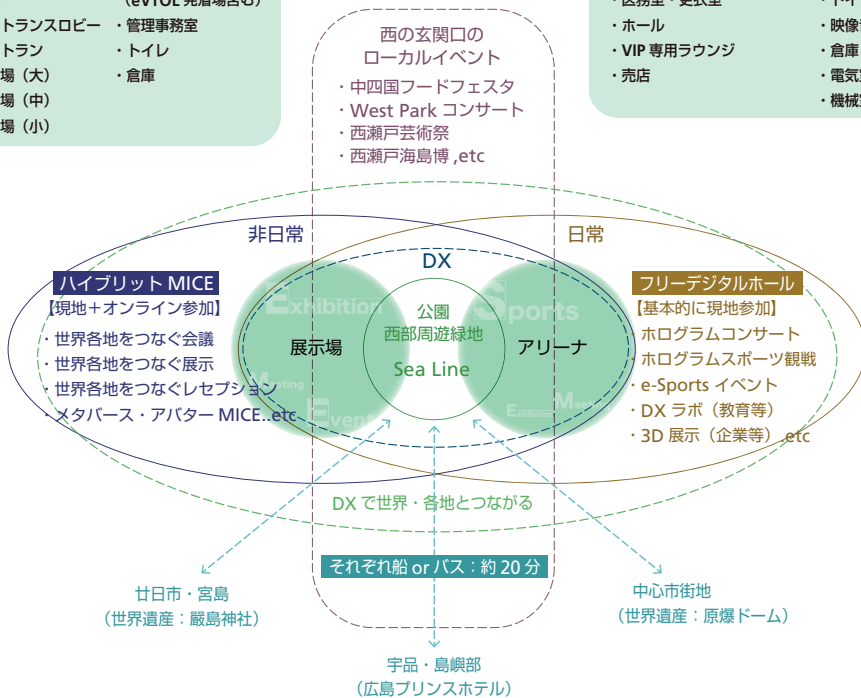
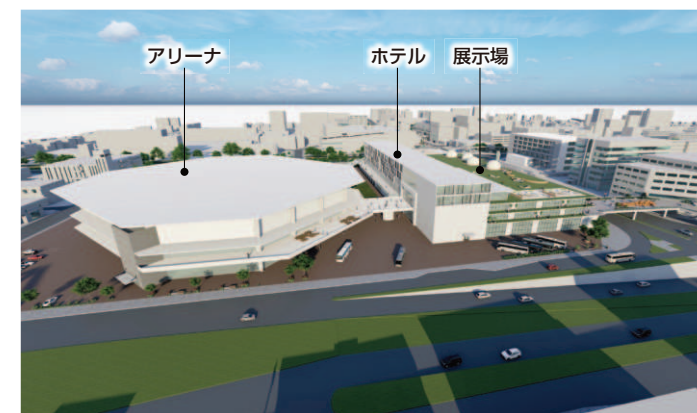
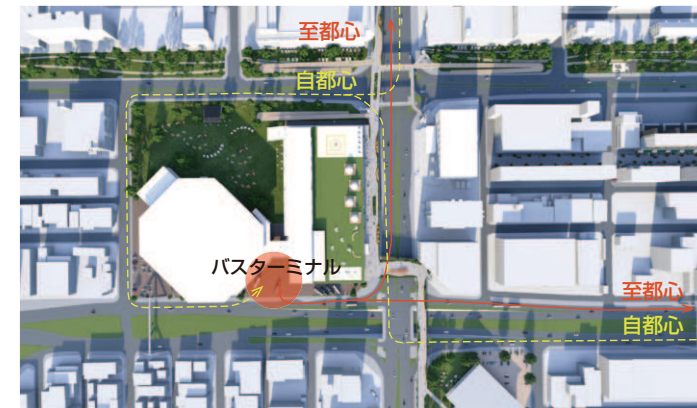
■3D ホログラム



■コンサート



■スポーツイベント



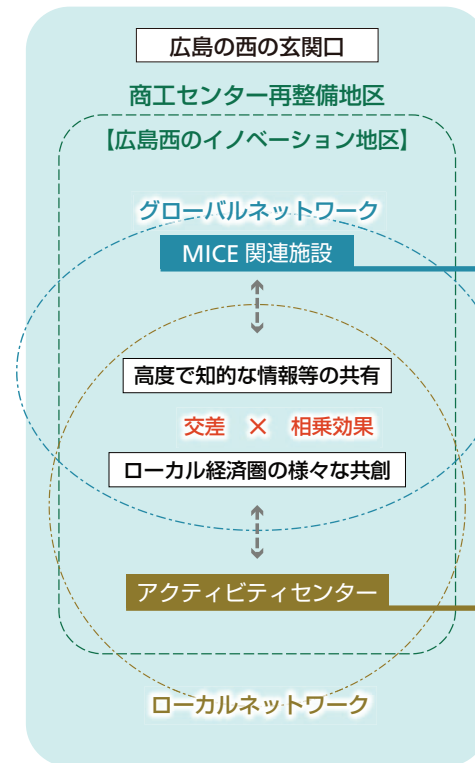
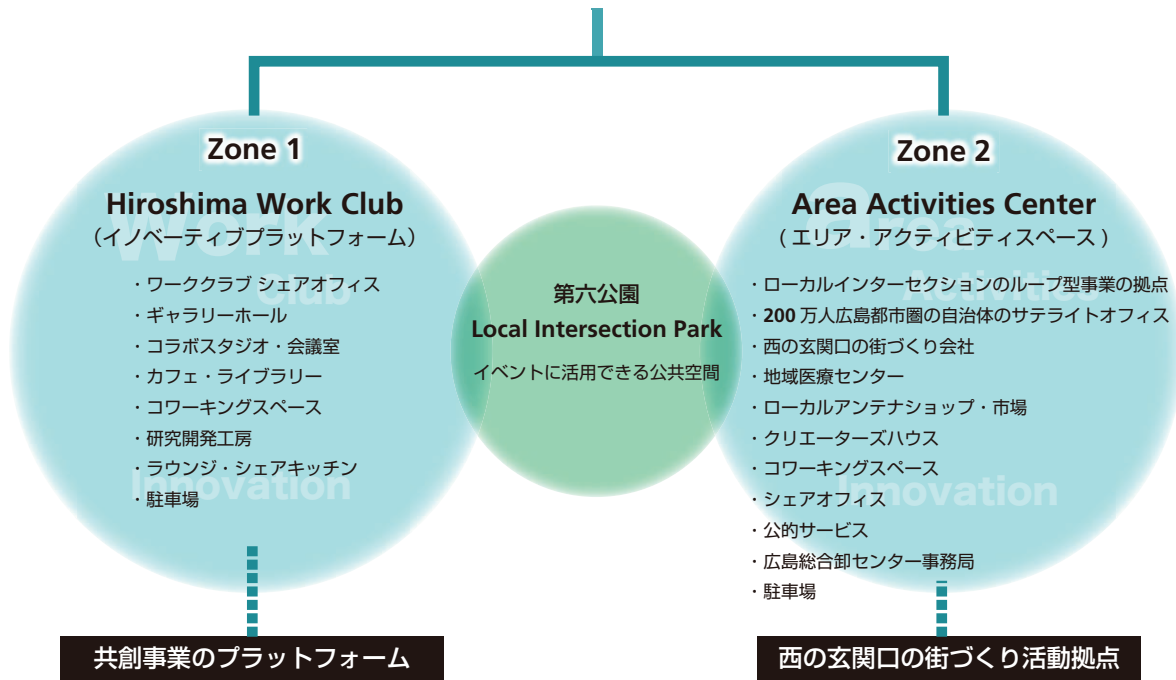
アクティビティセンターの概要

商工センター地区を広島・西瀬戸・世界の豊かな時間を体験し楽しむことができる街として醸成していくためには、関係者による日常的な共営・共創の場が必要になります。このため、西の玄関口の街づくりの拠点として展示会やスポーツイベント、フードフェスタやローカルマーケットなどの公民連携事業を企画・運営する場（アクティビティセンター）を設けることを提案します。

そして、その公民による産業連携が新たな事業や製品の創出（イノベーション）に発展することを目指して、アクティビティセンターにコワーキングスペースやシェアオフィス、ギャラリーホールや遠方からの活動参加者のための簡易な滞在施設等を設けることを提案します。



アクティビティセンター (西の玄関口の産業連携拠点)



- 進歩のための集いー
(高度・知的な情報・アイデアを交換する)
国際会議、国内会議・大会、総会・委員会
研修会、講演会、セミナー、etc
- 商いのための集いー
(効果的なマーケティングと営業推進を図る)
国際・国内展示会、企業プライベートショー
投資セミナー、インセンティブイベント
商品発表会、etc
- 楽しみの集いー
(参加体験を通じて心を豊かにする)
国際博覧会、地方博覧会、記念式典、演劇
コンサート、スポーツイベント、西瀬戸観光、etc

- 進歩のための集いー
(高度・知的な情報・アイデアを交換する)
各種連携会議、セミナー、スタートアップ会議、
アライアンス会議、プロトタイプングの検討、etc
- 商いのための集いー
(効果的なマーケティングと営業推進を図る)
体験型販売、サーキュラーエコノミーイベント、
商品発表・販売、産地直送マーケット
フードフェスティバル、etc
- 楽しみの集いー
(参加体験を通じて心を豊かにする：学生参加可)
各種スピーカーイベント、各種オンラインイベント、
仮称) Hiroshima Work Club Party or Lab、etc

公民連携によるにぎわいづくり

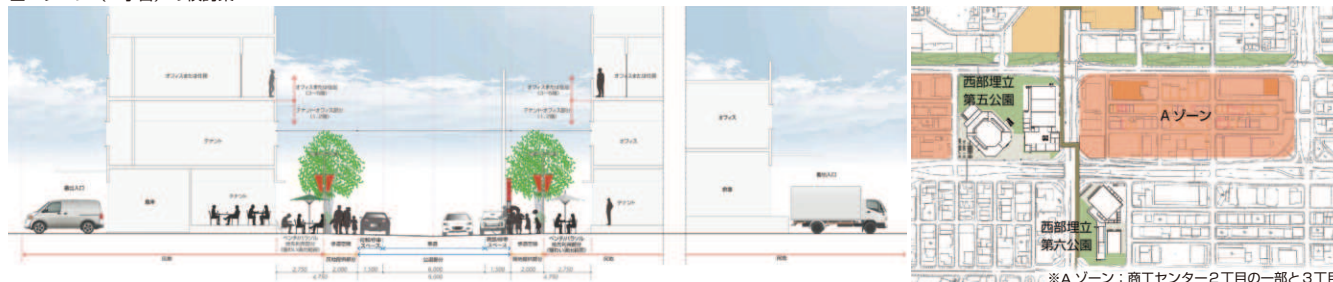
ー規制緩和・中央市場の再整備・オープンスペースの活用ー

流市法の緩和と土地の高度利用による街の複合化



MICE 施設整備後には、Aゾーンは飲食、雑貨等の商業化の需要が更に高まると考えられ、社会情勢等の変化を踏まえ、この範囲の流市法の適用を廃止するとともに、卸売業の継続と景観の維持向上のため、地区計画を策定することを提案します。

■Aゾーン(2丁目)の検討案



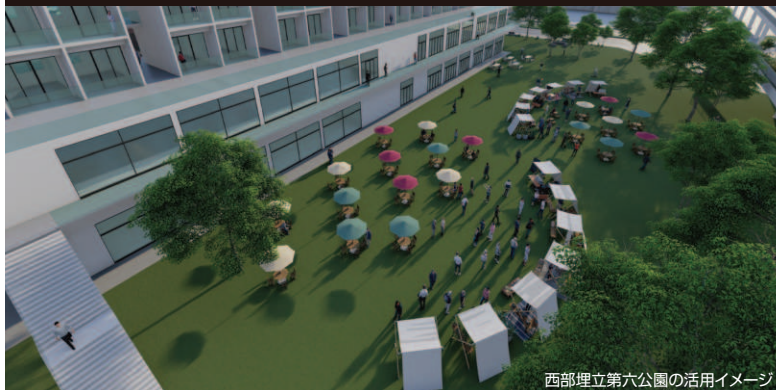
草津港周辺のにぎわい施設整備



商工センター地区の MICE 施設を多くの人に選ばれる施設にするため、街のさらなる魅力向上を目指し、広島市中央市場の再整備に併せて、飲食・物販等のにぎわい施設を整備するとともに、漁港として位置づけられている草津港を、漁港＋観光港に更新することを提案します。



ペDESTリアンデッキ・公園・緑道等のオープンスペースの活用



商工センター地区には、現在、ペDESTリアンデッキや公園等のオープンスペースがありますが、この提案では共営・共創のにぎわいを特定の施設だけではなく街に広く拡大していくため、それらのオープンスペースをより魅力的なものに再整備し、朝市や MICE での屋外展示など、各種イベントに活用していくことを提案します。



一世代別のモチベーションによる街の回遊イメージ 01

10～20代 / デジタルを駆使し楽しみを模索する高校生・大学生

集い / 刺激 / 交流



30～40代 / 家庭と仕事を両立しながら暮らす共働き世帯

食 / 出会い / くつろぎ

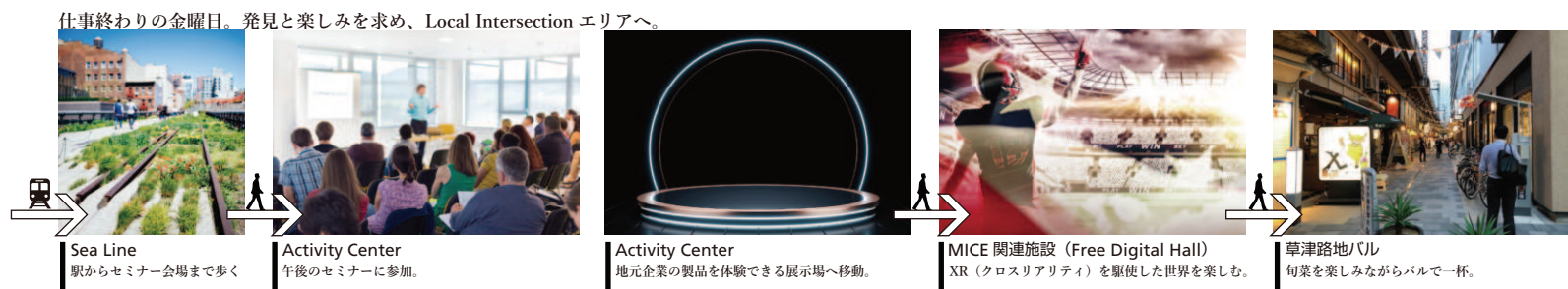


30～40代 / ヒトやコトとのつながり求めるビジネスパーソン

発見 / 創造 / 交渉



出会い / 発見 / 趣味



一世代別のモチベーションによる街の回遊イメージ 02

全世代 / 広島のスポーツを楽しむ人々

刺激 / 参加 / 食



水曜日。ドラゴンフライズの試合の試合を見るために街を訪れる。



集い / 活動 / 食



10~20代 / 仲間とバスケットの練習で街に来る。 30~40代 / 運動不足の解消で街を訪れる。



50代~/楽しみ方を模索しているアクティブシニア世帯

ゆとり / 遊び / 食・語らい



休日に親戚が来広。広島の新なる魅力を楽しんでもらうため港から海へ。



発見 / 刺激 / 食



仕事を済ませた平日。刺激を求め、アクティビティセンター、MICE 関連施設へ。



3D による西の玄関口の全体イメージ

■海側（南側）から街を望む

